



[エマオ通信]

No.14 (2025 年 9 月 15 日発行)

発行人 高良 研一 (会長)

編集人 稲川 仁 (事務局長)

発行者 木村 均 (書記)

日本バプテスト連盟全国壮年会連合 「伝道者養成と教会形成を担う働き」

25/26 年度主題: 「私と教会が元気になるには」

聖句: わたしたちの心は燃えていたではないか (ルカ 24:32)

<メッセージ> 「献身し続ける人生」

奥田 稔 (前橋教会沼田伝道所牧師)

「キリストの名がまだ知られていない所で福音を告げ知らせ」(ローマ 15:20) この聖句を神学校卒業後の進路を祈り求めている時に与えられました。卒業後、西川口教会からの招聘を受け、新しい教会形成のために上尾伝道所の牧師になりました。その時の伝道所会員は1名の婦人と私の2名。17歳で受浸、27歳で牧師になった最初の赴任地でした。伝道所はバプテスト教会のない埼玉県北西部にあり、そこで借家から会堂建築、学習塾等、様々な取り組みと学びをすることができました。14年後、一県一教会であった山形教会に転任、そしてその8年後に連盟宣教部主事として全国の教会へ協力活動をしました。また、その間、浦和教会の協力牧師もさせていただきました。6年間の連盟での働きの後、高崎伝道所を抱えていた前橋教会に赴任、7年後からは新規の太田伝道所の牧師も兼牧し、都合18年間の働きでした。その後、2022年度から自宅を提供した沼田伝道所において牧師を続けています。また趣味と健康維持を兼ねて隣地の畑を借り野菜を作り、諸教会に購入していただき、その代金を神学校献金や伝道所の会堂建築献金に捧げています。一連の赴任先々で常に考えていたことは冒頭の聖句です。

本来、キリスト者になった一人ひとは主の弟子としての使命が与えられています。バプテスト教会では牧師と信徒の協働が教会形成のカギです。キリスト者の人生は生きている限りみ言葉を伝えることに献身し続ける人生なのです。同時にこの使命を果たすためにはみ言葉の学びと、体験・証しすることが大切です。その目的達成のために神学校を利用することが有益と考えます。東京バプテスト神学校も九州バプテスト神学校も今やオンラインでどこでも授業を受けることができます。入学や聴講をご検討してみてください。

壮年の皆さん、共に主の尊い使命を生涯持って生きていきましょう。



タマネギ収穫

<証①> 「互いに励ましあう」

森田 敏夫 (横浜ニューライフ教会)

私は年齢が八十代後半になり多くの人に支えられ励まされて生きています。そんな私ですが出来たら人を励ますものになりたいという願いもあります。パウロは「あなた方の間にあって、あなた方と私の互いの信仰によってともに励ましを受けたいのです。」ローマ1:12と言っています。

私は4年前から毎年福井教会を訪問しています。福井教会の厳しい状況の中、平良憲誠牧師・民枝さんご夫妻が赴任されたことを知りました。又ニューライフ教会の集会が私の家のリビングで行われていた時にご夫妻が訪問してくださり励まして頂いた事を思い出したからです。

4年前に初めて礼拝に出席して大変喜んでいただきました。当時会堂は取り壊され牧師館のリビングでの礼拝でした。数年は年に一回は礼拝の出席しようと思いましたが、今年は4年目でした会堂も立派に完成したので一区切りかと思いましたが、来年も是非にとのお招きをいただきましたので、6月に予定しています。

50年前転勤で3年間お世話になった旭川教会にもここ数年8月に訪問しています。大変お世話になった姉妹が病気のため旅行が難しくなられたので元気な私が毎年教会を訪れることにしたのです。

昨年は機会が与えられて北九州市の若松教会の礼拝に出席し証をさせていただきました。懐かしい方々ともお会いできました。

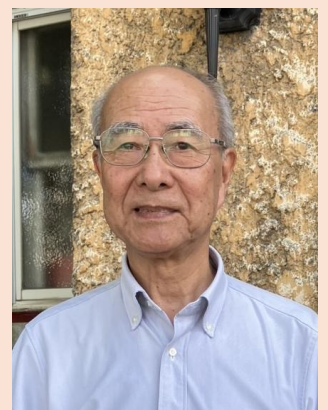
今年の7月には不思議なご縁で声をかけて頂き愛媛県八幡浜教会の礼拝にも出席し証をさせていただきました。

ここは一度限りだと思っていたのですが、思いがけず来年もぜひと言われましたので3月も予定しています。証だけではなく説教もとの依頼を受けています。

このように教会を訪問し礼拝を共にすることに主が私を用いてくださることは私の生きる力となり主からの励ましだと受け取っています。

「主がお入り用なのです」言っただけなら全国どこへでも手弁当で出かけて行きたいと思います。

これは私に出来る「協力伝道」でしょうか。



<証②> 「子供たちに教わる」

中山 晴久（仙台教会）

教会学校小学科の教師を 20 年余り担わせて頂いています。喋りまくって、遊びたい子供達には迷惑がられてはおりますが。新聞社にいて単身転勤生活が多かった現役時代、子育てをカミさんに任せっきりにしていた償いの想いもあって、辞めずに続けています（カミさんには「子供達がかわいそう!!」と呆れられていますが…）。

熱く語るのは、昨今感じる「生きづらさ」の、その解決のヒントを聖句の中に読み取ってほしいからと、独りよがりの自負をしています。

そんな子ども達ですが、時として答えに窮する質問をすることがあります。この夏も、戦後 80 周年！その不条理を又熱く語っていると、突然Aちゃんが「じゃ、人間はなぜ戦争するの?!」の質問！

「ん〜！」と唸ってしまい頭の中は、適当な聖句はないか、この年代にわかりやすい言葉はと、ぐるぐる状態。耐えかねて出た言葉は「ちゃんと答えたいから考えてくるね。」でした。浅学の身を恥じ入るばかりです。そして情けないかな、答えも又小学生の言葉の中に見いだしてしまう始末でした。

それは、毎年観ている「広島原爆慰霊式」の小学生二人の「平和の誓い」にありました。曰く、「一人一人が相手に寄り添うこと。多様性を認め、相手のことを理解しようとする。One voice！一つの声でも私達だって、学んだ事実思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはず」。早速次の日曜、Aちゃんにその動画を見せました。

「うん！世界にはいろんな人達がいて、その人達の事を理解しようとする事から平和は始まる！それをしようともせず、その人達を排除しようとするから戦争が起きるんだね！

大事なのは、戦争はしちゃダメと言い続ける強い心を持つ事だね。」「そう！負けそうになっても隣には必ずイエス様がいるからね。」

取って付けた対応で恥かしい限りですが、わかったような振りをせず一緒に考える事の大切さを子供達に教わった夏でした。



<今後の歩みと働きのための祈り>

- ◎ 全国壮年会連合オンライン研修会 10月18日(土)15:00-16:30 参加費無料 どなたも参加できます。
<タイトル> 私と教会が元気になるには ～ エマオからエルサレムへ ～
ID: 405 896 1393 パス: sonen
講師 田坂元彦 先生(横浜ニューライフ教会牧師、日本バプテスト連盟理事)
聖書箇所 ルカ 24:32～36
- ◎ 福井教会への第1回協力伝道派遣チーム(伝道隊) 11月15日(土)～16日(日) 本部役員を中心に派遣します。福井教会での働きのためにお祈りください。
- ◎ 10月10日(金)文書による中間監査 堤 秀幸監査、大城戸一彦監査の働きのためにお祈りください。
- ◎ 10月11日(土)第2回役員会(オンライン開催)10:00～15:00
- ◎ 11月8日(土)(10:30-14:00)第2回地方連合壮年会等代表者会議(オンライン)各地区の壮年会長(代務者含む)の参加により、今後の壮年会連合の在り方についての検討委員会設置を目指したいと思います。
- ◎ 西南学院大学神学部、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校の神学生の良き学びの為に。卒業後の歩みが豊かに導かれますように。そして、これらの神学校で学ぶ献身した神学生が起こされるように。更に特色と強みを生かした三つの神学校での働きを通じて、諸教会・伝道所の各教会員の学びが豊かに祝われますように。特にオンライン受講やスクーリング等により、信徒説教のための学びを深め、無牧師の教会・伝道所等での奉仕が豊かにできますように。信徒一人ひとりの献身から「教役者の働きを担う献身」へ導かれますように。

<お願い>

- それぞれのところで主にあって頑張っておられる方々やその働きをご紹介ください。このエマオ通信でその証を紹介してまいります。
- 第1回壮年大会(1965年目白ヶ丘教会他)開催以来の大会資料をお持ちの方をご紹介しますように。